

自然環境学習者の言語使用 とその特徴

—ストーリーテリングとロールプレイの
発話資料に基づいて—

迫田久美子

(国立国語研究所)



はじめに

【本発表のねらい】

日本在住の自然環境学習者と海外の教室環境学習者の発話データを比較し、言語使用の違いが見られるかどうかを観察する。

その結果を踏まえて、両環境および指導の影響や役割について述べる。

発表の前に...

本発表では、自然環境の学習者は以下の条件下の学習者を指す。

1. 学校で日本語を学んだ経験がなく、日本で1年以上、暮らして日本語を学んでいる。
2. 来日時に10歳以上で、現在16歳以上である。
3. ボランティア教室（1週間3日以内）や独学で日本語を学習していてもかまわない。
4. バイリンガルの場合は対象外とする。

これまでの研究から

- 教室指導は習得の速度を速め、より高いレベルの熟達度を保証する。
- 指導では正確さ、自然環境では自然なスピーキングが保証される。

これまでの研究から

●Pica (1983)

教室環境学習者は統語的な規則を過剰に使用する(例 I don't understanding)が、自然環境は省略する傾向(例 many town)がある。

●Shresta (1988)

教室環境は文法の正確さで優位であるのに対し、自然環境は滑らかさで優位である。

これまでの研究から

●日本語習得に関する研究では...

尾崎(1999), 平高・稲葉(1998), 黒野(1998),
坂本他(2008)

自然環境学習者は、

- ・ 終助詞「ね」の習得が早い
- ・ 指示詞コソアでは、ソ系の習得が早い
- ・ 「やっぱり」「何とか」「なんか」
「そうですねえ」等の使用頻度が高い

2. 分析対象

多言語母語の日本語学習者横断コーパス

(**I-JAS**: International corpus of Japanese As a Second language)の一部を使用

- 12の異なる母語の海外教室環境学習者,
中国語/韓国語/英語/独語/仏語/泰語/露語/スペイン語
ハンガリー語/トルコ語/ベトナム語/インドネシア語
- 国内の**自然環境学習者**と教室環境学習者
- **日本語母語話者**

●日本語力の測定（J-CAT, SPOT）

全員、共通の日本語能力テストを受ける。

今回のデータ：J-CAT207点(52%), SPOT68点(76%)

●発話データ & 作文データ（7種12タスク）

- ①ストーリーテリング(ST1, ST2) 2タスク
- ②対話（インタビュー）（I） 1タスク
- ③ロールプレイ（RP1, RP2） 3タスク
- ④絵描写
- ⑤ストーリーライティング(ST1, ST2) 2タスク
- ⑥作文（メール返事）(m1, m2, m3) 3タスク
- ⑦作文（エッセイ）（e） 1タスク

3. 受身と「てしまう」

ストーリーテリング

(ST1: ピクニック)

5コマの絵を見て内容が理解
できたら物語を作って話す。

朝、ケンとマリはサンドイッチを作りました。 _____



①

②

③

④

⑤

【母語話者】

- (1) えー作ったサンドイッチは全部食べられてしま
いました (JJJ12)

【自然環境学習者】

- (2) ~犬が出てしましまして全部食べ物を食べて
しまいました (JJN17)

【教室環境学習者】

- (3) サンドイッチは、全部、うー、食べられました
(CCM27)

表1 ⑤場面の表現ごとの各群の使用者数（人）

	母語話者	自然	中国語	英語
食べられてしまっていた	2	0	0	0
食べられてしまった	7	2(1)	2	1
食べてしまったのだ	1	0	0	0
食べていたのだ	0	1	0	0
食べられていた	3	0	0	0
食べてしまった	1	7(1)	0	8
食べられた	1	1	8	1
食べた	0	3	3	5
記述なし	0	1	2	0
合計	15	15	15	15

■ 表 1 の結果とデータから

- 1) 母語話者はより複雑な表現を使用する傾向があるが、自然環境と教室環境の間にはあまり違いは見られない。
- 2) 「食べた」⇒「食べられた・食べてしまった」⇒「食べられてしまった」の発達過程が推測される。
- 3) 教室環境学習者は、活用や単語を模索して正確さを意識する傾向が見られる。
- (4) 彼らはランチを、あー、食べ、食べようと、
彼らはランチを、食べ、あー、食べ… (CCM37)

自然環境学習者の発話から

(5) どこに行きましようかっていう話になりました
(JUN5)

(6) サンドイッチとか？全部、食べちゃったん
ですね (JUN7)

丁寧さに
問題？

4. 言いさし文と終助詞

ロールプレイ (RP1:依頼)

あなたは、日本料理店でアルバイトをしています。

中略

今は、一週間に三日アルバイトをしています。
しかし、忙しくなってきたので、一週間に二日に変更したいと思っています。そこで、店長に言って、三日から二日に変えてもらうように頼んでください。

(準備ができたなら始めますから、教えてください。)

※学習者の母語または英語で
作成されたロールカードを使用

【母語話者】

あの、えー、今アルバイト週に三日、えー来させていただいてるんですけども〈はい〉えーと週に二日に減らしていただきたいんですけども、はい

(JJJ12)

【自然環境学習者】

店長、えーとですね、あの一、ちょっと色々事情があつて、あの、仕事の方なんですけど〈はい〉えーに、週に今まで三回だったんですけども、二回に、ちょっと色々変わりたいんですけど、これ可能ですか？シフトをちょっと変えたいんですけど(JJN12)

表2 依頼場面の言いさしと非言いさし文の使用人数（人）

母語話者	自然環境	中国語	英語
言いさし 9	言いさし 5	言いさし 0	言いさし 1
非言いさし 6	非言いさし 10	非言いさし 15	非言いさし 14
質問文 0	質問文 7*3	質問文 8*6	質問文 11
願望文 4*1	願望文 1*4	願望文 3*7	願望文 1*9
願望質問文 2*2	願望質問文 2*5	願望質問文 4*8	願望質問文 2*10
*1 変えていただけたら嬉しいなと思っています。	*3 2日間にしてくださいませんか？ *4 2回にしてほしい	*6 2日に変わることができますか？ *7 2回になりたいと思います。	*9 2日だけのバイトをしてもらえ、いただきたいです。
*2 変更してもらいたいんですけど、大丈夫でしょうか？	*5 減らしてもらいたいんですけどできますか？	*8 2日(二カ)になりたいですか？	*10 短くしたいと思いますが、そうさせていただきませんか？

■表2の結果とデータから

1) 母語話者は言いさし文が多いのに対し、学習者は少ないが、自然環境学習者は教室環境学習者に比べると若干多い傾向がある。

2) 非言いさし文の場合、場合によっては失礼な印象を与える可能性がある。

(8) 三日のアルバイトのは一なかなかできないと思ひまして、ちょっと、二日にできますか？ (JUN42)

(9) 一週間ではええとああ二日だけ、ああ仕事をしてもいいですか？ (EAU7)

表3 RP1で使用された終助詞の種類と使用人数（人）

母語話者		自然		中国語		英語	
ね	2	ね	8*1	ね	4	ね	1
よ	1	よ	4	よ	2	よ	1
よね	1	よね	2	よね	1	よね	0
かね	0	かね	2	かね	0	かね	0
かな	1	かな	1	かな	0	かな	0

*1 「ちよつとね」「えーとね」

■表3の結果とデータから

1) 自然環境学習者の終助詞のバリエーションは、母語話者同様、広がりがある。

2) 自然環境学習者は、他の群と比べて半数以上の学習者が終助詞を使用している。

(10) 調整していただきたいですね (JJN15)

(11) 週に二回、あの、一日減らしたいんですよー
(JJN16)

不快な印象を与える可能性？

5. おわりに

自然環境学習者と教室環境学習者（中国語・英語母語話者）、各15人のストーリーテリングとロールプレイの発話を分析した結果、

1. ストーリーテリングでの発話には、母語話者と学習者に違いが見られたが、学習者間での違いは見られなかった。
2. ロールプレイでの発話には、自然環境学習者は「ね・よ」を多用して不快な印象を与えてしまい、コミュニケーション上の問題となる可能性がある。

■ 教室環境学習者の指導の影響

- 今回の結果からは特筆する点は観察されなかったが、滑らかさより正確さに注目する傾向

■ 自然環境学習者に対する指導

- 限られた言語使用環境？
- 対話相手との上下・親疎関係による表現の使い分けの必要性

人間関係に影響？

問題点と課題

1. 分析した文の量が少ないため、教室環境と自然環境の学習者間で明確な違いが見られなかった。⇒多種のタスクを分析する必要。
2. 文の複雑さの観点には、形態素レベルだけでなく、文構造なども分析する必要がある。
3. 丁寧さの観点には、中間言語語用論の先行研究等を参考に指導を検討する必要がある。